

カエル君とナマコさんのからだの中味 を見てみよう

大学生 松本さん

日にち：27日、28日 12時40分～14時10分

場所：理科室

この実験は、カエルとナマコの解剖をする実験です。

まず、ハサミで大腦を切り取りました。脳を切り取ったカエルをスタンドに吊るし、酢酸に足の先を浸しました。すると、足がピクッと引き上げました。これは、背骨の中の脊髄による体を守るための反応で、『反射』と呼ばれます。

カエルの体の中身は、人間と同じように、胃や、腸などがありました。体のつくりも似ていました。脳がないのに心臓が常に動いているのには驚きました。

松本さんは肺にストローを入れ一気に息を吹き込みました。すると、まるで風船のように膨張しました。肺ってすごいなあと思いました。

ナマコは、体のつくりが人間とは全然違いました。体の中には、砂がいっぱいたまっていて、においも強烈でした。触ってみると、プニプニしていて、変な感じでした。また、ヌルヌルもしていました。

カエルは、最後にから揚げにして食べました。生きたままだったら生臭かったけど、そんな臭いもなく、鳥に近い味でした。とても、美味でした。

2012.09.05 ふるさと発信情報局員 中川光志

